平成 21 年度事業計画

(財)日本自転車競技連盟

我が国における自転車競技界を統括し、代表する団体として、寄付行為に掲げる目的を達成するため、以下の諸事業を実施する。

Ⅰ　事業計画概要

[総務部]

連盟運営経費並びに競輪補助金を取り巻く状況の厳しさを踏まえ、従来にも増して、自主財源の確保を最重要課題として、協賛企業の確保、新規獲得を強力に推進すると共に、諸経費の支出についても引き続き見直しを行い、経費削減に努める。

また、本年度は、連盟本来の目的である自転車競技の普及振興を如何に図るかを改めて検討する他、底辺拡大の一助ともなるよう連盟広報誌「シクリスムエコー」及びホームページの更なる内容充実に努め、自転車競技の魅力を広く一般に発信していく。

さらに評議員会、理事会及び常務理事会並びに各委員会を通して、適正・円滑な運営を図ると共に、昨年 12 月に法律が施行された公益法人制度改革に対応すべき移行期間 5 年間の２年目にあたることを踏まえ、新役員の下公益財団法人として申請すべく鋭意検討を進めていくこととする。

[業務部]

少子化、スポーツ離れのなか、競技者人口増加のための早急な普及･振興対策が求められている。

そのためには、競技の社会的認知度を高め、価値観を構築する必要があり、本連盟率先のもと組織が一団となって取組む意識が欠かせない。

まず、幼児期から競技活動としてでなく敷居を低くして、自転車の楽しさを知ってもらう機会を設けることから始める。

そして、指導者、安全に走る場所、機材の確保のためには、地域組織の強化、協賛の開拓、また広報、動員のため他競技との連携も検討する。

ひとつでも、出来ることから実践する。

[選手強化部]
昨年度北京オリンピックが終了し、本年度は次回ロンドンオリンピックに向けたナショナルチームの再編成を行い、選考された選手を中心に選手強化を図る。
これに併行して、（財）日本オリンピック委員会並びに国際自転車競技連合との連絡を密にし、その情報収集を図り、万全の体制で臨めるよう努める。
トラックにおいては、次回ロンドンオリンピックに向けたナショナルチーム・強化指定選手の編成を目的に、チャレンジ・ザ・オリンピックを実施する。
ロードにおいては、Ｕ２３の強化指定選手を中心に国際大会に派遣し、選手強化に努める。
マウンテンバイク、ＢＭＸ等においては、強化指定選手を中心に国内合宿を積極的に実施し、国際大会で好成績が収められるよう選手の強化育成に努める。
ジュニアについては、２００９年ジュニア世界選手権及びジュニア国際大会に積極的に派遣し、好成績が得られるよう選手強化を図る。
また、同時に次代を担う選手並びに女子競技者の育成に努める。

[国際事業推進室〕
国外へのチーム派遣のみならず、多様な国外競技活動や国内での国際大会開催、国際化を視野に入れたチーム等の体制の整備など、ますます国際的活動は増加しつつある。
この状況においてわが国の競技力を高めるとともに、その力を発揮する場である競技大会の質を高めるためにも、国際的な情報の収集、共有とともに発信していくことも重要である。
これらのことを踏まえて、国際事業推進室は、本連盟諸事業の場において人材の発掘・養成・登用、資料・文書の 2 ヶ国語（日本語・英語）化、国内外の情報の収集、優れたシステムの導入、対外（国内外）的な情報の蓄積および公開、競技成績に基づくランキング制度の整備、そしてこれらのための事務局内での情報の共有化および事務局整備を推進する。
そして、これらの円滑な推進のため、関係者・関係団体との良好で緊密な協力関係を涵養すべく活動する。

実施事業については以下のとおりである。

Ⅱ　実施事業

１．国内競技大会関係事業

①　全日本自転車競技選手権大会（トラック、ロード、個人 TT ロード、Jr ロード、室内自転車、マウンテンバイク、シクロクロス、BMX）
②　その他国内大会（全アマトラック、全アマロード、JOC ジュニアオリンピック、全国都道府県対抗）

２．国内での国際競技大会

①　ジャパンカップロードレース大会
②　ツール･ド･コリア－ジャパン 2009 日本ステージ
③　ＡＣＣトラックアジアカップ日本ラウンド
④　TOUR　de　熊野

３．国際競技大会関係事業

①　世界選手権自転車競技大会（トラック、ロード、マウンテンバイク、BMX、室内自転車、シクロクロス、Jr トラック、Jr ロード）選手派遣
②　ワールドカップ大会選手派遣
③　国際グランプリケイリン選手派遣
④　６日間レース選手派遣
⑤　アジア自転車競技選手権大会選手派遣
⑥　ACC トラックアジアカップ大会選手派遣
⑦　日韓対抗学生自転車競技大会
⑧　国際会議への派遣

４．加盟団体関係事業

（１）都道府県連盟関連事業

①　全国地域別道路競走大会　　（８地域）
②　全国地域別トラックレース大会　　（８地域）

③　全国都道府県別自転車競技選手権大会（４７都道府県）

（2）日本プロフェッショナルサイクリスト協会関連事業

①　全日本プロフェッショナル自転車競技選手権大会
②　全国地区別プロフェッショナル自転車競技選手権大会
③　プロサイクリスト強化事業

（3）全国高等学校体育連盟自転車競技専門部関連事業

①　全国高等学校選抜自転車競技大会(トラック、ロード)
②　全国高等学校自転車競技合宿（ブロック・全国）

（4）日本学生自転車競技連盟関連事業

①　全日本学生選手権自転車競技大会(トラック、ロード、チームロード)
②　全日本大学対抗選手権自転車競技大会

（5）全日本実業団自転車競技連盟関連事業

①　全日本実業団対抗サイクルロードレース大会
②　全日本実業団自転車競技選手権大会
③　東西地域別実業団(トラック、ロード)
④　全日本実業団サイクルロードレース in 石川大会

5．アンチドーピングの推進事業

全日本選手権大会等主要大会において、ドーピング検査を実施し、アンチドーピングを積極的に推進する。

6．強化･普及事業

（1）選手強化事業
（2）全国自転車競技指導担当者研修会・審判講習会

（３）自転車競技の普及・広報事業
（４）ケイリン種目等指導普及事業
（５）広報誌発行事業
（６）チャレンジ・サイクル・ロードレース大会

７．委員会活動事業
（１）国内競技大会に関する委員会活動
（２）国際競技における制度等に関する委員会活動
（３）選手強化等に関する委員会活動
（４）登録システムの整備

８．２０１２年トラック世界自転車競技選手権大会招致事業

Ⅲ　共催事業の実施

（１）第 13 回ツアー・オブ・ジャパン　（自転車月間推進協議会他）
（２）ツール・ド・おきなわ 2009　（NPO 法人ツール・ド・おきなわ協会他）
（３）ツール・ド・北海道 2009　((財) ツール・ド・北海道協会）
（４）シマノ鈴鹿国際ロードレース大会　（(株)シマノ）
（５）平成 ２１年度全国高等学校総合体育大会（(財）全国高等学校体育連盟、奈良県）
（６）第 64 回国民体育大会自転車競技会　（文部科学省、(財)日本体育協会、新潟県他）
（７）日本スポーツマスターズ 2009 自転車競技((財)日本体育協会、静岡県他)
（８）第５回全国ジュニア自転車競技大会　（四日市サイクルスポーツ・フェスティバル実行委員会）
（９）第 1 回全日本ステージ・レース in いわて（ＮＰＯ法人岩手県バイコロジーをすすめる会）